

教員名	御船 美智子 (MIFUNE Michiko)
所 属	生活科学部人間生活学科生活社会科学講座
学 位	家政学修士 (1977 お茶の水女子大学)
職 名	教授
URL / E-mail	http://www.soc.ocha.ac.jp/mifune/ / mifunemm@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

家計 / 家庭内経済関係 / ジェンダー / 生活経済 / 消費者科学

◆主要業績

総数 (14) 件

- ・御船美智子・家計経済研究所編著『家計研究へのアプローチ』ミネルヴァ書房、2007年3月
- ・御船美智子編著『消費者科学入門』光生館、2006年9月
- ・御船美智子「生活創造論からみた生協」現代生協論編集委員会編『現代生協論の探求〈理論編〉』コープ出版、2006年5月、pp.59-82.
- ・御船美智子「女性の金融資産と住宅所有」家計経済研究所『女性のライフコースと住宅 所有』家計経済研究所.2006年5月,pp.71-89.
- ・御船美智子・山本紀久子・近藤恵「現代社会における消費者教育の内容と方法－消費者相談担当者が重視するキーワード調査をもとにして」『消費者教育』日本消費者教育学会、2006年9月、pp.23-32

◆研究内容

1.COE「ジェンダー研究のフロンティア」における『家族・仕事・家計に関する国際比較研究』の韓国パネル調査、中国パネル調査に基づく家庭内経済関係の変化と規定要因についての研究。家庭内経済関係のジェンダー不平等は、家計フロー・ストック面、家事など家庭内生産面、家計管理面から見られ、日本の不平等は特に家庭内生産面でみられ、韓国では資産貢献への不平等がみられる。日本では夫妻の家事労働評価の高さを背景に妻の資産形成貢献意識が高い。家事の外部化は中国で多く、勉強の世話は韓国が多い。

2.消費者教育体系化のキーワード研究。教員・学者、企業の消費者相談担当、消費生活センター相談員に消費者教育キーワード調査をした結果、3者に契約、自己責任、教員と消費生活センターに悪質商法、教員と企業共通に環境と自立が検出された。消費生活センター相談員は消費者問題に対応した能力育成と時代への即応を重視している。

3.家計研究。家計研究の方法と調査についての研究

◆教育内容

学部：消費者科学入門、生活経済学演習で、消費者、家計主体からみた現代経済社会の仕組みと消費者のための知識、消費者教育について概説した。パーソナルファイナンスのための生活設計、金銭管理、制度としての消費社会、消費者政策と消費者支援、消費者情報、ジェンダー視点での家庭経済分析について示した。授業では、家計財務諸表の実習を課したり、KJ法でのキーワード整理による問題の把握方法の習得、東京都消費生活総合センターでの見学実習も盛りこみ、生活者起点での問題意識の組み立て方法、生活者支援の理論と実際を学べるように組み立てている。

大学院：生活経済論、生活経済論演習で、現代社会での生活と経済の関係を生活者・消費者の視点で理論構築する方法を、文献や実証研究結果とその議論によって検討している。

◆Research Pursuits

I make the study of household economic relations and factors by Panel Survey in Seoul and Beijing on Work, Family and Gender. I consider gender inequality from income, assets, household production and management. I also examine the present and factors effecting on the property accumulation of married women by using surveys on nuclear family. The gap between the proportion of married women's property to household property and that of married women's cumulative income to household total income is distributed widely. I found that there would be a tendency that married women who belong to households with low income, and have consciousness with division of labor by gender role, can't accumulate their own property and feel stress in their daily life. Moreover, I discovered that they think that husband has the title to husband's income. Findings suggest that married women with couple's separate income consciousness can't accumulate their property.

◆共同研究可能テーマ

- ・女性と資産について
- ・消費生活に関するパネル調査研究
- ・消費者教育と消費者の変化についての研究

◆将来の研究計画・研究の展望

『家族・仕事・家計に関する国際比較研究』の韓国パネル調査、中国パネル調査の5年目の調査を実施し、パネル調査としてのデータの蓄積が進んでいるため、ミクロの生活レベルのジェンダー分析が可能となっている。特に、家庭内生産の意味づけ、位置づけ、近年急激に変化している女性・男性の労働との関係を明らかにする。

◆受験生等へのメッセージ

私たちが生活している現代社会は、急激に変化しています。そして、「生活」を切り口にすると、標準的な生活の時代から、生活創造の時代に入っています。自分の身の回り1メートルから出発し、自分の生活を見つめるとともに、周りの人の生活をじっくり見て、その関係やネットワークを観察しましょう。すると、その共通の背景と生活主体の多様性がみえてくるでしょう。それぞれの生活目標や生活資源は生活者の生活経営を左右します。共通に枠組されている経済社会やその制度が、生活者にどのように届くのか、生活者はどのように認識し行動するのか、それを見極めてこそ生活者の生活の質を高めることができるでしょう。消費者、生活者をキーワードにして、生活を社会科学して産業を生活産業に、政策を生活政策に、支援を生活主体形成へと転換する社会の再構築に挑んでみませんか。

◆Educational Pursuits

I suevey the Everyday-Life Economics, Household economics, Consumer Science, Family Resource management at faculty level. I teach personal finance , life planning ,money management, account excution , time use , cooperation and cooperative society. Students exercise organization technique by KJ method in class.We visit Consumer Center and take the lecture by officer and consumer adviser.